

SONY

2-685-159-02(1)

デジタル一眼レフカメラ用レンズ**取扱説明書**

20mm F2.8

28mm F2.8

SAL20F28/28F28

©2006 Sony Corporation Printed in Japan

α**警告** 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、人身への危害や火災などの財産への損害を与えることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

<http://www.sony.co.jp/>

この取扱説明書は、複数のレンズを対象としています。
本機はソニー製 **α** カメラでお使いになれます。

**警告 安全のために**

ソニー製品は、安全に充分配慮されています。しかし、間違った使いかたをすると、人身事故が起きる恐れがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る。
- 故障したら使わずに、お買い上げ店、またはソニーデジタル一眼カメラ専用ヘルプデスクに修理を依頼する。

**警告** 下記の注意事項を守らないと、事故により死亡や大けがの原因となります。

レンズを通して、太陽や強い光を見ない
目をいためたり、失明の原因となることがあります。



乳幼児の手の届く場所に置かない
事故やけがなどの原因となります。

**使用上のご注意**

- 直射日光の当たる場所に放置しないでください。太陽光が近くの物に結露すると、火災の原因となります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズキャップを取り付けてください。
- レンズを装着するときやご使用になる際には、衝撃を与えないようにご注意ください。
- 保管の際は、必ずレンズにレンズキャップを取り付けてください。
- 湿度の高い場所に長期間置かないでください。カビが発生することがあります。
- ピント合わせなどにより繰り出されたレンズ部分でカメラを保持しないでください。

- レンズ信号接点を触らないでください。よごれ等により接触不良になると、カメラとの信号のやりとりが正しく行われず、カメラが正しく動作しなくなりますのでご注意ください。

フラッシュ使用時のご注意

レンズとフラッシュの組み合わせによっては、レンズがフラッシュ光を妨げ、写真の下部に影がでることがあります。カメラ内蔵フラッシュ使用時には、レンズフードをはずし、1m以上離れて撮影してください。

周辺光量について

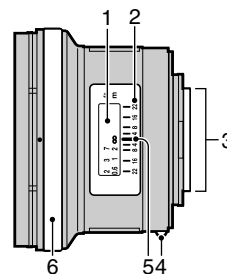
レンズは原理的に画面周辺部の光量が中心部に比べ低下します。周辺光量の低下が気になる場合は、開放絞りから1～2段絞り込んでご使用ください。

A 各部のなまえ

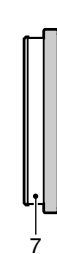
- 1…距離目盛
- 2…被写界深度目盛
- 3…レンズ信号接点
- 4…マウント標点
- 5…距離指標
- 6…フォーカスリング
- 7…レンズフード*

* 28mm F2.8のみ

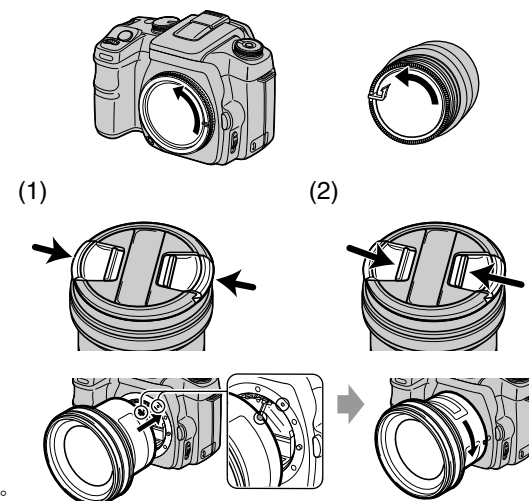
20mm F2.8:



28mm F2.8:

**B レンズの取り付けかた／取りはずしかた****取り付けかた****1 レンズの前後レンズキャップとカメラのボディキャップをはずす。**

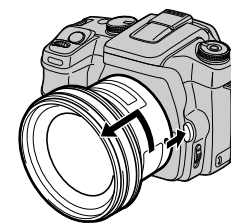
- レンズの前レンズキャップは、(1)、(2)の2通りの方法で取り付け／取りはずしができます。(2)は、レンズフードを付けた状態でのレンズキャップの取り付け／取りはずしに便利です。

**2 レンズとカメラのオレンジの点(マウント標点)を合わせてはめ込み、レンズを軽くカメラに押し当てながら、時計方向に「カチッ」とロックがかかるまでゆっくり回す。**

- レンズを取り付けるときは、カメラのレンズ取りはずしボタンを押さないでください。
- レンズを斜めに差し込まないでください。

取りはずしかた

カメラのレンズ取りはずしボタンを押したまま、レンズを反時計方向に回してはずす。



保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。それでも具合の悪いときは、お買い上げ店、またはソニーデジタル一眼レフカメラ専用ヘルプデスクにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

お問い合わせ窓口のご案内	■ ソニーデジタル一眼レフカメラ専用ヘルプデスク ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。 製品の品質には万全を期しておりますが、万が一不具合が生じた場合は、「ソニーデジタル一眼レフカメラ専用ヘルプデスク」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。
電話のおかけ間違いにご注意ください。	● ナビダイヤル ☎ 0570-00-0770 (全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます) ● 携帯電話・PHSでのご利用は0466-38-0231 (ナビダイヤルが使用できない場合はこちらをご利用ください) 受付時間： 月～金曜日 午前9時～午後8時 土、日曜日、祝日 午前9時～午後5時

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

㊄ レンズフードを取り付ける

画面外にある光が描写に影響するのを防ぐために、レンズフードの使用をおすすめします。

20mm F2.8:

レンズフードの赤線をレンズの赤点に合わせ、そのまま止まるまで時計方向に回す。

28mm F2.8:

レンズのピントを近距離に合わせた状態で、レンズの先端部のレンズフードを前方に引き出す。

- 内蔵フラッシュを使って撮影するときは、フラッシュ光が遮られることがありますので、レンズフードをはずしてください。内蔵式レンズフードの場合は、収納してください。
- 赤線などのマークが付いている場合はレンズフードを正確に取り付けてください。レンズフードの効果が出なかったり、画面の一部にレンズフードが写り込むことがあります。
- 撮影後レンズフードを収納するときは、逆向きにレンズに取り付けてください。(20mm F2.8のみ)

㊄ ピントを合わせる

オートフォーカスでピントを合わせる場合は、カメラが自動的にピントを合わせます。手でピントを合わせる場合は、カメラをマニュアルフォーカス(手動によるピント合わせ)にして、ファインダーをのぞいてフォーカスリングを回してください。ファインダー内のフォーカス表示がピントの状態をお知らせします。

被写界深度目盛

レンズはある距離にピントを合わせたとき、その距離にあるものが鮮鋭に写るだけでなく、その前後にも写真として実用上ピントが合って写る範囲があります。この範囲を被写界深度といいます。被写界深度は使用レンズの撮影距離、絞りによって変化します。被写界深度は、被写界深度目盛上で該当する絞りによって表示されます。

- 被写界深度目盛は35mm判カメラ用です。APS-Cサイズ相当の撮像素子を搭載したデジタル一眼レフカメラでは、被写界深度は浅くなります。

主な仕様

商品名(型名)	35mm判換算焦点距離* ¹ (mm)	レンズ群一枚	画角1* ²	画角2* ²	最短撮影距離* ³ (m)	最大撮影倍率(倍)	最小絞り	フィルター径(mm)	外形寸法(最大径×長さ)(mm)	質量(g)
20mm F2.8 (SAL20F28)	30	9-10	94°	70°	0.25	0.13	F22	72	約78×53.5	約285
28mm F2.8 (SAL28F28)	42	5-5	75°	54°	0.3	0.13	F22	49	約65.5×42.5	約185

*¹ ここでの35mm判換算焦点距離とは、APS-Cサイズ相当の撮像素子を搭載したデジタル一眼レフカメラでの値を表します。

*² 画角1は35mm判カメラ、画角2はAPS-Cサイズ相当の撮像素子を搭載したデジタル一眼レフカメラでの値を表します。

*³ 最短撮影距離とは、撮像素子面から被写体までの最短距離を表します。

- レンズの機構によっては、撮影距離の変化に伴って焦点距離が変化する場合があります。記載の焦点距離は撮影距離が無限遠での定義です。

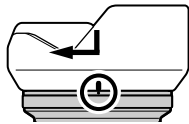
同梱物：レンズ(1)、前レンズキャップ(1)、後レンズキャップ(1)、レンズフード*(1)、印刷物一式

* 28mm F2.8は内蔵式レンズフードのため、レンズフードは同梱されません。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

αはソニー株式会社の商標です。

20mm F2.8:



28mm F2.8:

